

# BELLUNA

証券コード：9997

## BUSINESS REPORT

株式会社ベルーナ

### 第46期 株主通信

2021年4月1日～2022年3月31日



お 客 様 の 衣 食 住 遊 を 豊 か に す る





売上高は過去最高、  
営業利益・経常利益・当期純利益は  
前年を下回ったものの、  
予算を上回る業績を達成。

代表取締役社長 安野 清

このたびの新型コロナウイルスの感染拡大により、身体  
の健康、そして日々の暮らしに影響を受けておられる  
全ての皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

### ■ 当社グループを取り巻く市場環境

日本経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大  
を背景に、インバウンド需要の減少や国内外における経  
済活動の停滞が継続しております。国内の個人消費につ  
きましては、10月から12月にかけてワクチン接種の進展  
や感染者数の減少により消費需要の回復が見られまし  
たが、1月以降にオミクロン株の拡大により感染者数が  
拡大し、まん延防止等重点措置が発出され、再び消費需  
要の低下が起きるなど、未だ先行きは不透明な状況にあ  
ります。また、失業率の上昇や所得環境の悪化もあり、消費  
需要が回復するには一定の時間を要すると考えられま  
す。通信販売業界におきましては、新型コロナウイルス感  
染拡大による外出自粛や接触回避の影響により、幅広い顧

客層からの需要が高まり利用拡大が進んでおります。

### ■ 当期の概況

当社グループはアパレル・雑貨事業、化粧品健康食品事  
業、グルメ事業、ナース関連事業、データベース活用事業、  
呉服関連事業、プロパティ事業、その他の事業の8セグメ  
ントにおいて、1つ1つのセグメントを太く強くし、シナ  
ジー効果を発揮するポートフォリオ経営の成熟に取り組  
んで参りました。その結果、当連結会計年度の売上高は  
2,201.3億円(前年同期比6.6%増)となり、営業利益は  
138.3億円(同12.1%減)となりました。経常利益は資金  
調達に係る手数料が前年同時期より拡大したことなど  
により145.4億円(同13.8%減)となりました。また、法人  
税が縮小したことなどにより、親会社株主に帰属する当  
期純利益は102.0億円(同7.5%減)となりました。

財政状況に関しまして、負債は前期末比で81.5億円増  
加し、1,351.3億円となりました。これは主に短期借入金

### 財務ハイライト(連結)

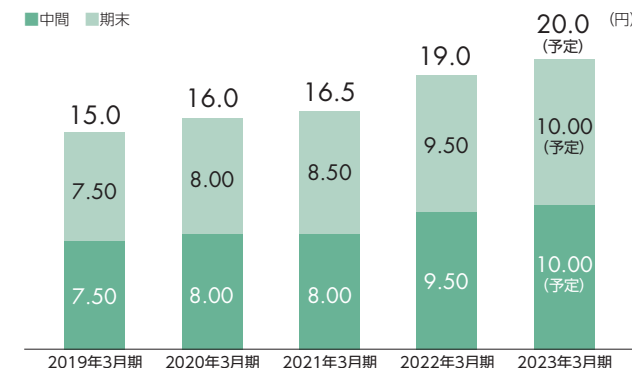
売上高	2,201.3億円 (前年同期比6.6%増)
営業利益	138.3億円 (前年同期比12.1%減)
経常利益	145.4億円 (前年同期比13.8%減)
親会社株主に帰属する 当期純利益	102.0億円 (前年同期比7.5%減)

が70.0億円、長期借入金が38.4億円増加したことによる  
ものです。一方、総資産は前期末比で139.7億円増加し、  
2,541.8億円となりました。この結果、純資産は前期末比  
で58.1億円増加し、1,190.4億円となり、自己資本比率  
は46.5%となりました。

### ■ 次期の見通し

今後の日本経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の  
脅威は継続しており、経済活動の停滞長期化が懸念され  
るなど先行きは依然として不透明な状況にあります。国内  
の個人消費につきましても、ガソリンや食品等の価格  
上昇により、消費需要の回復には一定の期間を要すると  
考えられます。通信販売業界におきましては、新型コロ  
ナウイルス感染拡大の影響による消費者の生活様式や購  
買志向の変化による需要拡大が継続すると思われま  
す。また、通販事業におきましては、原材料価格や海上運賃  
の高騰による商品原価の上昇が懸念されます。当社グ  
ループにおきましては、通販事業を中心に、消費者の需

### 1株当たり配当金の推移



要変化を機会と捉え、新たな価値を生む商品及びサービ  
スの投入を進め、新たな顧客満足を創出することによる  
顧客数拡大・事業成長の実現を目指して参ります。また、  
呉服関連事業・プロパティ事業におきましては、新型コ  
ロナウイルス感染拡大防止方針・施策に則り運営を行う  
と共に、外部環境の変化に対応した新たなサービス・集  
客手法の開発及び実施により事業成長・収益確保を目指  
して参ります。

2023年3月期は、売上高は2,190億円、営業利益は  
150億円、経常利益は157億円、親会社株主に帰属する  
当期純利益は106億円となる見通しです。

現在の見通しには、潜在的なリスクや不確実性を含ん  
でおり、本資料発表時点で想定しうる影響額及び足元の  
状況を織り込んでおりますが、これらの見通しとは異なる  
結果になる可能性があります。今後、新たに業績見通  
しが変動する場合には、速やかにお知らせいたします。  
株主の皆様におかれましては、当社グループへの変わら  
ぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

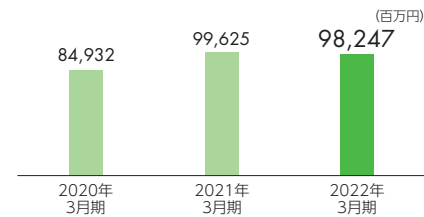
アパレル・雑貨事業(旧 総合通販)

- ・ミセス層中心のカatalog、ネット通販
- ・モール展開 (RyuRyumall)
- ・ネット専業通販 (ミン・アイシーネット・丸長・セレクト)
- ・アパレル店舗 (ペルーナ)



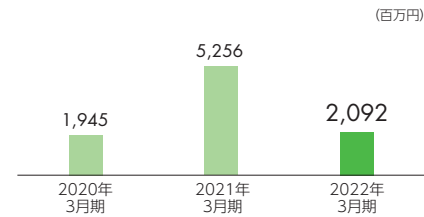
売上高

982.5億円 (前年同期比1.4%減)



セグメント利益

20.9億円 (前年同期比60.2%減)



既存顧客のレスポンスの鈍化傾向が継続する一方で、広告宣伝費を抑制する等、収益確保を優先した事業運営を行った結果、売上高は982.5億円(同1.4%減)となり、セグメント利益は20.9億円(同60.2%減)となりました。

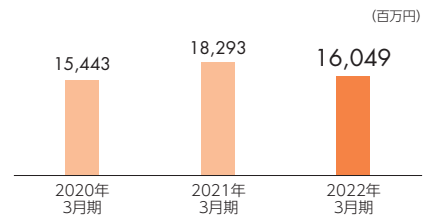
化粧品健康食品事業

- ・化粧品通販 (オージュオ・なちゅライフ)
- ・健康食品通販 (リフレ)



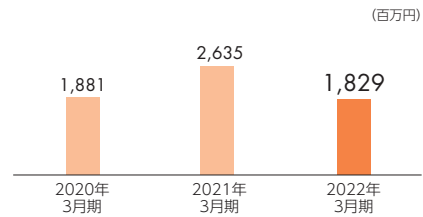
売上高

160.5億円 (前年同期比12.3%減)



セグメント利益

18.3億円 (前年同期比30.6%減)



化粧品販売事業の台湾における新型コロナウイルス感染拡大の影響で成長が鈍化したことに加え、健康食品通販事業の新規顧客レスポンスが低下したことにより、売上高は160.5億円(同12.3%減)となり、セグメント利益は18.3億円(同30.6%減)となりました。

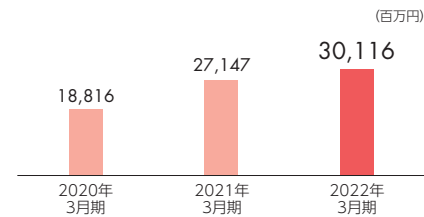
グルメ事業(ワイン、日本酒を含む)

- ・食品通販、日本酒通販
- ・ワイン通販



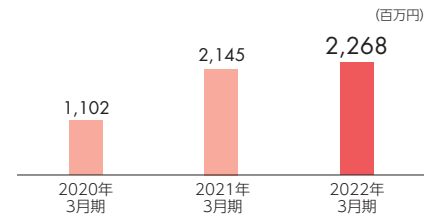
売上高

301.2億円 (前年同期比10.9%増)



セグメント利益

22.7億円 (前年同期比5.7%増)



前期に引き続き積極的な広告宣伝を行ったことに加え、おせち料理の売上が好調に推移した一方で、既存顧客のレスポンスが鈍化傾向となり、売上高は301.2億円(同10.9%増)となり、セグメント利益は22.7億円(同5.7%増)となりました。

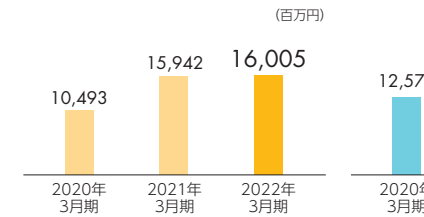
ナース関連事業

- ・看護師向け通販 (ナースリー・アンファミエ)
- ・看護師人材紹介 (ナースキャリアネクスト・JOB STUDIO)



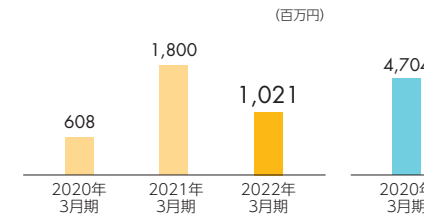
売上高

160.1億円 (前年同期比0.4%増)



セグメント利益

10.2億円 (前年同期比43.3%減)



TVCM等の積極的な広告宣伝を行った一方で、新型コロナウイルス感染拡大の影響が一巡し、前年同時期に特需のあったマスクやパルスオキシメーター等の医療雑貨・消耗品需要が縮小した結果、売上高は160.1億円(同0.4%増)となり、セグメント利益は10.2億円(同43.3%減)となりました。

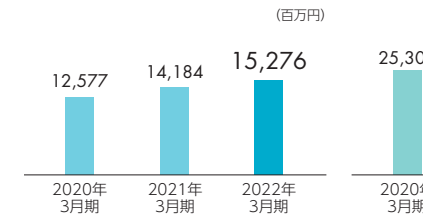
データベース活用事業

- ・封入・同送サービス (ペルーナダイレクト)
- ・通販代行サービス (BBS)
- ・会員向けファイナンス事業 (ペルーナノーツ)
- ・物流3PL事業 (BGL)



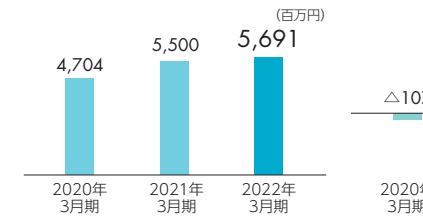
売上高

152.8億円 (前年同期比7.7%増)



セグメント利益

56.9億円 (前年同期比3.5%増)



通販代行サービスは新規取引先獲得が順調に進んで増収となり、封入・同送サービスは通期で増収、ファイナンス事業は新型コロナウイルス感染拡大の影響により新規顧客獲得効率が低下する傾向が継続した結果、売上高は152.8億円(同7.7%増)となり、セグメント利益は56.9億円(同3.5%増)となりました。

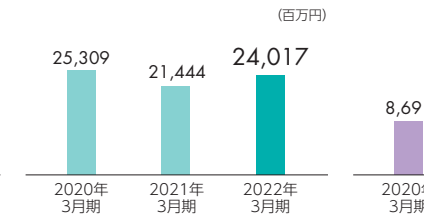
呉服関連事業

- ・和装店舗 (BANKANわものや・さが美・東京ますいわ屋)
- ・大学生の卒業式袴レンタル (マイム)
- ・ホテル事業
- ・太陽光発電事業



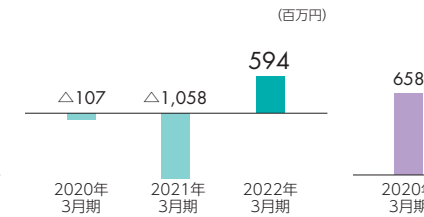
売上高

240.2億円 (前年同期比12.0%増)



セグメント利益

5.9億円 (前年同期は△10.6億円)



新型コロナウイルス感染拡大防止に向けたディベロッパーの方針による営業時間短縮や臨時休業の影響があったものの、1店舗平均の受注効率改善及び費用削減対応が寄与し、受注金額拡大及び収益性改善の両立ができ、増収増益となった結果、売上高は240.2億円(同12.0%増)となり、セグメント利益は5.9億円(前年同期は10.6億円のセグメント損失)となりました。

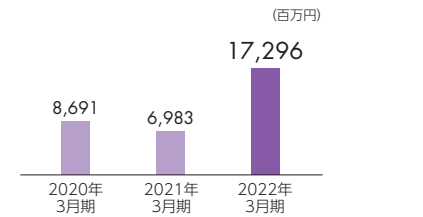
プロパティ事業

- ・不動産事業 (オフィスビルなどの賃貸・開発・販売)
- ・ホテル事業
- ・太陽光発電事業



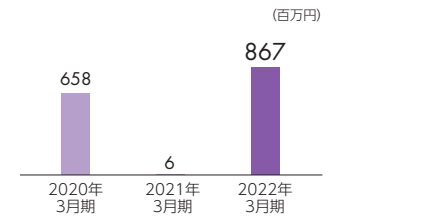
売上高

173.0億円 (前年同期比147.7%増)



セグメント利益

8.7億円 (前年同期比13,102.5%増)



ホテル事業において、新型コロナウイルス感染拡大の影響が一巡し、前年同時期と比較しマイナス影響が縮小したものの、新規開業ホテルの費用の先行発生や既存ホテルの稼働率低下があった一方で、海外不動産の売却があったことにより大幅な増収増益影響が出た結果、売上高は173.0億円(同147.7%増)となり、セグメント利益は8.7億円(同13,102.5%増)となりました。

プロ野球・埼玉西武ライオンズと施設命名権スポンサー契約を締結

## 「西武ドーム」を2022年3月より 「ベルーナドーム」に名称変更



当社と、株式会社西武ライオンズ(本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：奥村 剛、以下「西武ライオンズ」)は、同球団の本拠地である「西武ドーム」の施設命名権(ネーミングライツ)スポンサー契約を締結いたしました。これにより、西武ドームは2022年3月1日より「ベルーナドーム」に名称を変更いたしました。

当社は、西武ライオンズと同じ埼玉県に本社を構え、2015年より埼玉西武ライオンズのオフィシャルスポンサー契約を締結しております。過去には共同で球場イベントなどを企画したほか、埼玉西武ライオンズがリーグ優勝し

た2018年と2019年には優勝祝いのセールを実施するなど、埼玉西武ライオンズを応援して参りました。

そして今回、埼玉西武ライオンズとライオンズファンの皆様、及び当社のお客様と、スポーツやエンターテインメントを通じた地域振興をより一層盛り上げるため、施設命名権スポンサー契約の締結に至りました。本契約締結を受け、2022シーズンのホーム開幕戦となる2022年3月25日より、来場者へ賞品をプレゼントする本拠地勝利賞「ベルーナビクトリー賞」や当社公式マスコット「べるーにゃ」と埼玉西武ライオンズのコラボグッズ販売などを実施しております。

### ベルーナドーム ロゴについて



新名称「ベルーナドーム」をシンボリックに表現するために、英語表記の頭文字の「B」と「D」をシンボルマークに使用。ベルーナのコーポレートカラーである鮮やかなグリーンは「B」に、ライオンズのレジェンドブルーは「D」に、そして「B」と「D」を重ねることで、ベルーナと西武ライオンズの“団結”、またあらゆるファンの皆様との“出会い”や“交流”の意味を込めています。

### 2022シーズンより両社で実施する企画について

#### ● 本拠地勝利賞「ベルーナビクトリー賞」

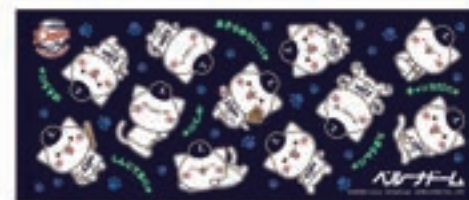
本拠地ベルーナドームにて埼玉西武ライオンズが勝利した全試合で、来場者へ抽選で賞品をプレゼント。ライオンズ公式応援グッズやベルーナが販売するワインや食品、ベルーナグループホテル宿泊券などが当たります。

#### ● 埼玉西武ライオンズ×べるーにゃ コラボグッズ販売

埼玉西武ライオンズとべるーにゃのコラボレーショングッズ制作・販売など。



獅子魂フェイスタオル



べるーにゃ柄フェイスタオル



ライオンズ×べるーにゃ  
ぬいぐるみ

ライオンズ×べるーにゃ  
キーホルダー



獅子魂フラッグ



勝つにゃ!  
ミニフラッグ

## 4月4日より、東京証券取引所プライム市場へ移行しました

当社はこれまで、東京証券取引所第一部に上場しておりましたが、市場区分の見直しに伴い、4月4日に東京証券取引所プライム市場へ移行しました。

今後もコーポレート・ガバナンス体制を強化していくと共に、ステークホルダーの皆様のご期待に沿えるよう企業価値の更なる向上を目指して参ります。



## サステナビリティ推進委員会を立ち上げました

ベルーナグループは、「お客様の衣食住遊を豊かにする」という経営理念の下、1968年の創業以来、通信販売を中心として多様なサービスを展開しています。これからも、多角的な事業活動を通じてお客様の生活と幸せの向上に貢献できる企業を目指して参ります。そして、確かな経営基盤のもと、ベルーナグループの価値向上に取り組むと共に、環境負荷の軽減に努め、社会への価値を提供しつづけることで、持続可能な社会の実現に貢献して参ります。



そのために、ベルーナグループでは社内横断的な検討・推進組織として「サステナビリティ推進委員会」を設置しました。今後、この委員会を中心に、対応すべき課題を明確にし、持続可能な社会の実現に向けた活動を加速して参ります。また、7つの主要実践項目を設置し、従業員をはじめとしたステークホルダーが協力してSDGsに関連する取組を実行して参ります。

ホームページ▶ <https://www.belluna.co.jp/csr/>

### 優待内容

#### 1 優待券、優待クーポン又は自社取扱商品から選択

①当社運営の通信販売で使用できる優待券 ②ベルーナネットで利用できる優待クーポン ③自社取扱の食品又はワイン



#### 2 「裏磐梯レイクリゾート(旧裏磐梯猫魔ホテル)」で利用できる宿泊優待券



#### 3 「ルグラン旧軽井沢」で利用できる宿泊優待券



保有株式数	1 優待券又は自社取扱商品から選択	2 裏磐梯レイクリゾート優待券	3 ルグラン旧軽井沢優待券 <sup>*3</sup>
100株以上 500株未満	① 1,000円分の通信販売 <sup>*1</sup> 優待券 ② 1,000円分のネット専用優待クーポン ③ 1,000円相当の自社取扱の食品又はワイン <sup>*2</sup>	宿泊優待券1枚	宿泊優待券1枚
500株以上 1,000株未満	① 3,000円分の通信販売 <sup>*1</sup> 優待券 ② 3,000円分のネット専用優待クーポン ③ 3,000円相当の自社取扱の食品又はワイン <sup>*2</sup>	宿泊優待券2枚	宿泊優待券1枚
1,000株以上	① 5,000円分の通信販売 <sup>*1</sup> 優待券 ② 5,000円分のネット専用優待クーポン ③ 5,000円相当の自社取扱の食品又はワイン <sup>*2</sup>	宿泊優待券4枚	宿泊優待券1枚

<sup>\*1</sup> 衣料品、生活雑貨、家具等を販売するアパレル・雑貨事業でご利用いただけます。  
<sup>\*2</sup> 自社取扱の食品又はワインは、当社が選定した商品をお送りいたします。商品をカタログから選ぶことはできません。  
<sup>\*3</sup> ルグラン旧軽井沢の宿泊優待券は、年1回(12月上旬発行分)のみの贈呈となります。  
<sup>\*4</sup> 株主優待のご利用方法の詳細については、贈呈時にご案内いたします。

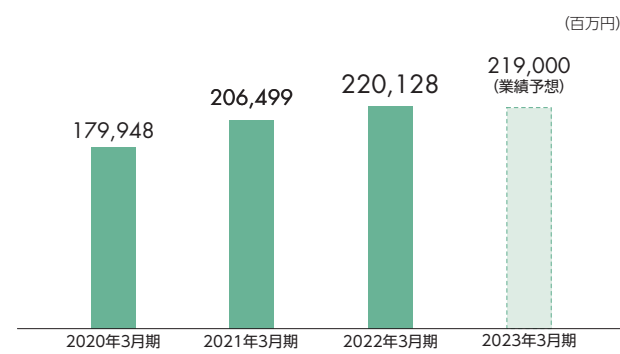
#### 発送時期・有効期限

	発送時期	有効期限
中間	12月上旬	12月1日～6月30日
期末	6月下旬	7月1日～12月31日

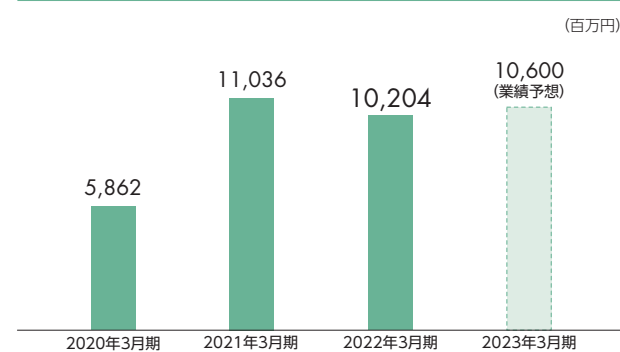
#### 対象となる株主様

毎年3月末及び9月末の株主名簿に記載又は記録された当社株式100株(1単元)以上保有の株主様

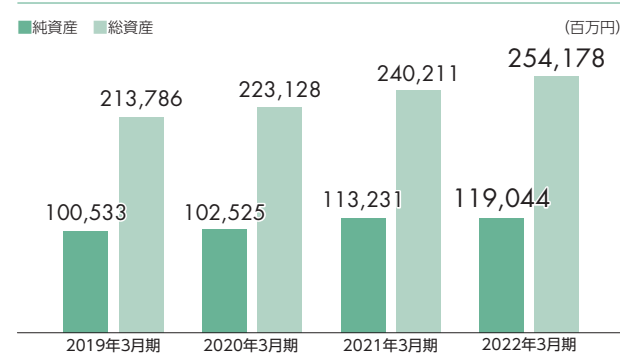
売上高



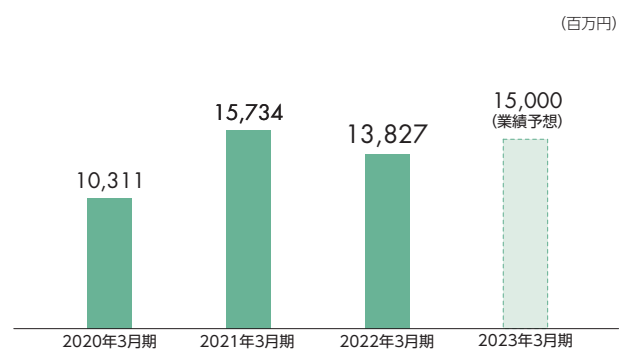
親会社株主に帰属する当期純利益



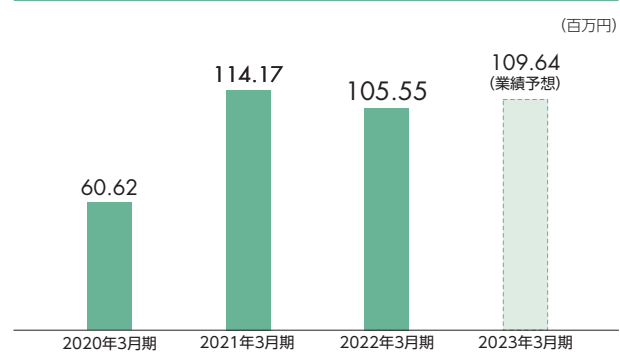
総資産・純資産



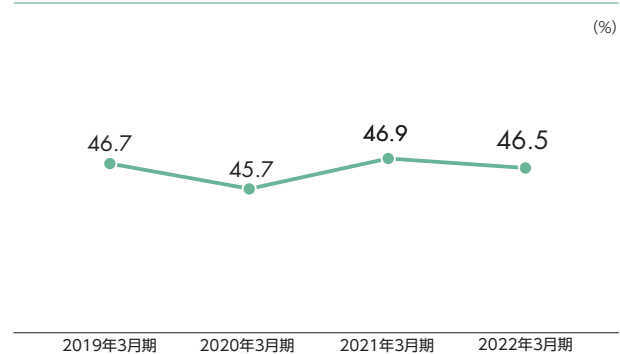
営業利益



1株当たり当期純利益



自己資本比率



連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 2021年3月31日現在	当連結会計年度 2022年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	115,534	118,133
固定資産	124,677	136,045
有形固定資産	92,558	103,342
無形固定資産	10,904	10,278
投資その他の資産	21,213	22,424
<b>1 資産合計</b>	<b>240,211</b>	<b>254,178</b>
<b>負債・純資産の部</b>		
流動負債	55,645	64,904
固定負債	71,334	70,229
<b>2 負債合計</b>	<b>126,980</b>	<b>135,134</b>
株主資本	115,752	124,228
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,954	10,951
利益剰余金	94,667	103,131
自己株式	△481	△467
その他の包括利益累計額	△3,132	△5,959
非支配株主持分	611	775
純資産合計	113,231	119,044
負債純資産合計	240,211	254,178

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

POINT

- 1 資産合計**  
前期末に比べ13,966百万円増加しました。これは主に、流動資産における現金及び預金、仕掛販売用不動産が減少した一方で、商品及び製品、その他流動資産が増加したこと、また、固定資産において建物及び構築物、土地、建設仮勘定が増加したことによるものであります。
- 2 負債合計**  
前期末に比べ8,154百万円増加しました。これは主に、流動負債において未払法人税等が減少した一方で、短期借入金が増加したこと、また、固定負債において、長期借入金が増加したことによるものです。
- 3 売上高**  
アパレル・雑貨事業、化粧品健康食品事業、グルメ事業、ナース関連事業、データベース活用事業、呉服関連事業、プロパティ事業、その他の事業の8セグメントにおいて、1つ1つのセグメントを太く強くし、シナジー効果を発揮するポートフォリオ経営の成熟に取り組んだ結果、前年比6.6%増となりました。

連結損益計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 2020年4月1日～ 2021年3月31日	当連結会計年度 2021年4月1日～ 2022年3月31日
<b>3 売上高</b>	206,499	220,128
売上総利益	121,556	129,305
販売費及び一般管理費	105,821	115,478
営業利益	15,734	13,827
営業外収益	1,616	2,230
営業外費用	478	1,519
経常利益	16,872	14,537
特別利益	1,493	1,550
特別損失	622	774
税金等調整前当期純利益	17,743	15,313
法人税、住民税及び事業税	6,999	4,996
法人税等調整額	△275	50
当期純利益	11,019	10,265
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△16	60
親会社株主に帰属する当期純利益	11,036	10,204

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 2020年4月1日～ 2021年3月31日	当連結会計年度 2021年4月1日～ 2022年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,772	7,154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,185	△17,033
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,996	8,652
現金及び現金同等物に係る換算差額	72	△162
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,662	△1,389
現金及び現金同等物の期末残高	30,958	29,569

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

詳細な財務情報は、当社Webサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

ベルーナ IR 検索

■ 会社概要

会社名	株式会社ベルーナ (Belluna Co., Ltd.)
資本金	106億12百万円
創業	1968年9月
設立	1977年6月
従業員数	3,444名 (連結)
事業内容	カタログ、ネット等による通信販売を核に、実店舗、受託、金融、プロパティ、卸売等の分野で展開する通信販売総合商社

■ 役員

代表取締役社長	安野 清	取締役	浅沼 泰匡
取締役	安野 雄一郎	取締役	宮下 正義
取締役	穴戸 順子	取締役(監査等委員)	萩原 康雄
取締役	松戸 智博	社外取締役(監査等委員)	渡部 行光
取締役	山内 雅人	社外取締役(監査等委員)	山縣 秀樹
取締役	高橋 亮吾		

■ 主な事業所

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京本部	(東京都中央区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東支店	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
春日部オーダーレセプションセンター	(埼玉県春日部市)
吉見ロジスティクスセンター	(埼玉県吉見町)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	97,244,472株
株主数(除く自己名義)	21,122名

■ 大株主

	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社フレンドステージアセットマネジメント	41,383	42.8
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	6,178	6.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,757	5.9
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,628	3.7
安野 清	2,916	3.0
安野 公	2,914	3.0
株式会社三井住友銀行	2,246	2.3
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱UFJ銀行口)	1,968	2.0
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	1,546	1.5
ベルーナ共栄会	1,489	1.5

※持株比率は自己株式(559,217株)を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況

金融機関	個人投資家	事業会社	外国人
19.4%	19.5%	44.1%	17.0%

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領	期末配当金 3月31日
株主確定日	中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	3月31日
株式の売買単位	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 公告掲載 URL <a href="https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/">https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/</a>

株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
及び	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問合せ先	TEL 0120-288-324(フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場